

5人の挑戦者との交流で新しい未来を創るプロジェクト

- 岩手・宮城・福島の3県で、復興支援を含むあらゆる挑戦を応援する活動、「Fw: 東北 Fan Meeting」では、今年度の新たなプロジェクトとして、**3県で様々な課題解決に取り組む事業者を取り上げ、ご関心をお持ちいただいたみなさまとの交流の機会をつくる**ことで、みなさまとともに彼らの事業を後押しする「**Cheer Up! Project (チア アップ プロジェクト)**」を実施します。
- 「Cheer Up! Project」では、下記の**5人の挑戦者と語り合うオンラインの“ファンミーティング”**を開催します。地元出身者や移住者など、様々な立場で東北の新しい未来を創る5人の挑戦者に、ぜひご関心をお寄せください。

<p>廃棄漁具を資源に変える事業を創りたい</p>  <p>加藤 広大さん amu 株式会社 代表取締役 CEO (宮城県気仙沼市)</p>   <p>学生時代に東京から通い詰めた気仙沼で、世界三大漁場から廃漁網を活用する事業を起こし、上場へ挑戦。</p> <p>10月6日(金) 14:30~16:30 Fw: 東北 Fan Meeting 2023 Cheer Up! Project Vol.1 世界三大漁場で描くアップサイクル事業の成長軌道 ～廃漁網から生まれる事業連携とは？ 宮城県気仙沼市の amu 株式会社は、海洋プラスチックゴミの40%を占める廃漁網を資源化し、各種製品の材料としてメーカー企業等に提供するビジネスモデルを描いています。世界三大漁場の三陸・気仙沼で、廃漁網が豊富な資源に生まれ変わることで、どのような事業が可能になるのか。東日本大震災後のボランティアで出会った気仙沼へ移住した加藤さんと一緒に考えてみませんか？</p> <p>↑ 詳細・参加申込は上のQRコードから</p> <p>こんな人におススメ ▶ 沿岸独自のアップサイクル事業に関心ある方</p>	<p>山菜ピクルスで北三陸をアピールしたい</p>  <p>藤織 ジュンさん 合同会社プロダクション 未知カンパニー 代表 (岩手県久慈市)</p>   <p>移住した久慈市で海女と観光PRを務め、北三陸の食材を守り育てる事業として「さんピク」をリリース。</p> <p>こんな人におススメ ▶ ユニークな取組で観光や食を盛り上げたい方</p>	<p>被災した町から世界基準のワインを造りたい</p>  <p>及川 恭平さん ドメヌ ミカヅキ 代表 (岩手県陸前高田市)</p>   <p>陸前高田で震災に遭った高校時代に地元での起業を決意。2021年にUターンを果たしワイナリー設立。</p> <p>こんな人におススメ ▶ ワイン造りを通じて三陸地域と関わりたい方</p>
<p>オーガニックコットンで新たな産業を育てたい</p>  <p>酒井 悠太さん 株式会社起点 代表取締役 (福島県いわき市)</p>   <p>被災地での産業づくりとして和綿の有機栽培に挑み、オーガニックコットンのものづくりで事業化を実践。</p> <p>こんな人におススメ ▶ 地域発の素材の付加価値向上に貢献したい方</p>	<p>子どもが喜ぶグルテンフリー食材を拡げたい</p>  <p>樽川 千香子さん アルファ電子株式会社 代表取締役社長 (福島県天栄村)</p>   <p>震災の避難先で子どもの食物アレルギーに直面し、家業の電子部品メーカーで米粉類「う米めん」を開発。</p> <p>こんな人におススメ ▶ 子どもの食のケアをサポートしたい方</p>	

※ QRコードのリンク先は、Fw: 東北 Fan Meeting の Facebook ページでの紹介記事となります。
 ※ Vol.2 以降の開催については各 QRコードのリンク先にて順次お知らせいたします。
 ※ 本イベントは、復興庁令和5年度「新しい東北の創造に向けたワークショップ企画運営等業務」により実施するものです。